

2017年6月1日

各 位

「ライオンズ札幌中央レガシア」^{バーチャルリアリティ} VR ラウンジオープン 「VR 技術を導入した物件案内」で完成前の建物を疑似体験

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽、以下「大京」）は、2017年8月販売開始予定の「ライオンズ札幌中央レガシア（北海道札幌市中央区北二条東2丁目、地上14階建て、総戸数78戸）」の棟内モデルルームオープンに先立ち、VR（バーチャルリアリティ）ラウンジを開設し、6月10日（土）より「VR 技術を導入した物件案内」を開始することとなりましたのでお知らせいたします。

これは、VR 技術を通して、お客さまに「エリア環境」や「建物内部（共用部）」を疑似体験していただくことにより、「環境」や「建物」のイメージをできるだけ正確につかんでいただくことを目指しています。

■導入背景

新築マンションの販売においては、これまで物件の近隣に設けるマンションギャラリー（販売事務所）で専有部のイメージや、設備などを確認していただいております。今回はさらに、建物完成まで確認することが出来ない季節のエリア環境や、体感することができない共用部分（エントランス等）を立体的に認識していただきたいと考え、「VR 技術を導入した物件案内」を開始することとしました。

【VR 映像】



【VR 機器装着シーン】



大京グループでは2016年10月に発表した「大京グループ中期経営計画」において、「ICT活用」を新たな取り組みテーマとして位置付けており、不動産売買仲介業務における「VR 内覧サービス」、ビル管理業務における「スマートグラスの活用」など ICT の活用を進めてきました。今回の「VR 技術を導入した物件案内」もその一環となります。

これにより、お客さまの物件に対する理解を深めると共に、満足度の向上にも努めてまいります。

◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆
株式会社大京 広報・IR室（小野・河守） [TEL:03-3475-3802](tel:03-3475-3802)
◆ 本物件の販売に関するお問い合わせ先 ◆
「ライオンズ札幌中央レガシア」プロジェクト（寺田、松井） [TEL:0120-911-110](tel:0120-911-110)

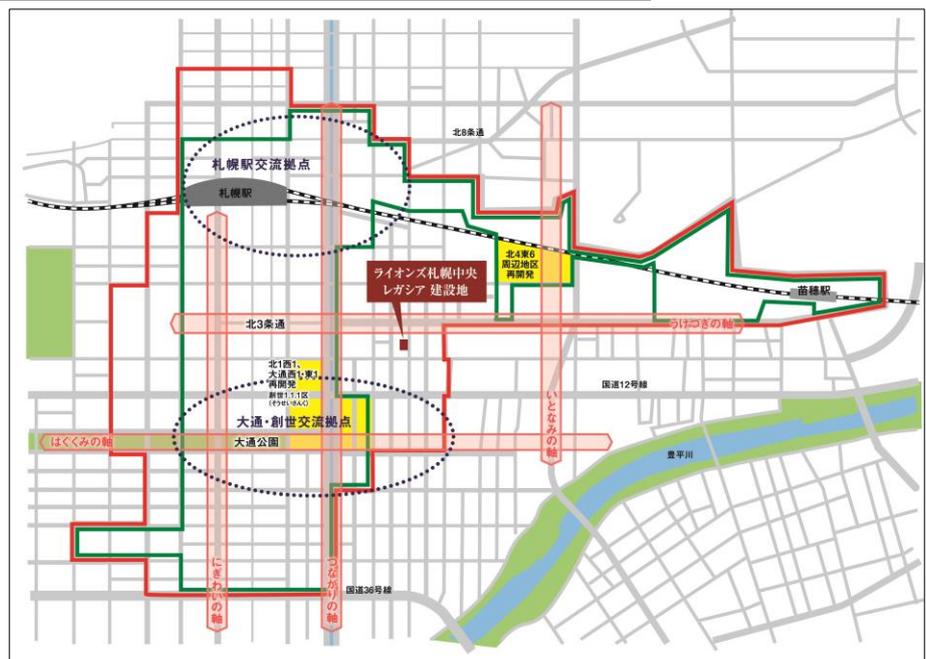
■「ライオンズ札幌中央レガシア」の特徴

1. 都市再生緊急整備地域に指定された都心の中心部、周辺で再開発が進む都心立地
2. 歴史を継承し、未来を歩む。時を超えてレガシーとなる悠美邸を目指したデザインを採用
3. 再配達ゼロを目指した各住戸専用宅配ボックス「ライオンズマイボックス」を北海道初導入
4. 居住者のニーズや社会の変化に対応できる「(仮称)スマートインフォボード」を北海道初導入

1. 都市再生緊急整備地域に指定された都心の中心部、周辺で再開発が進む都心立地

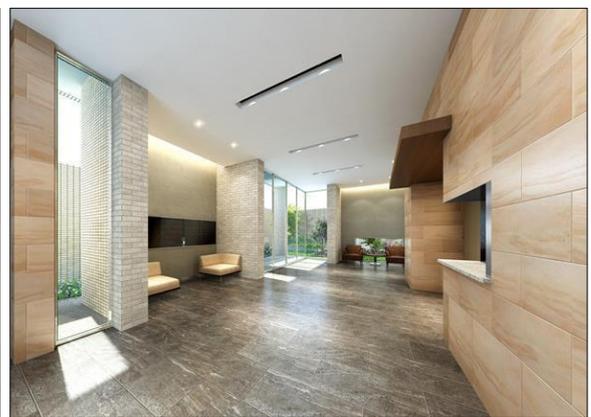
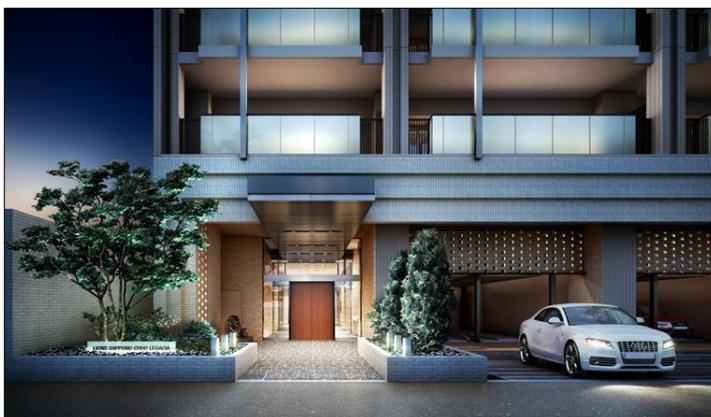
都市再生緊急整備地域に指定された札幌の中心部では、札幌創世1.1.1.区(そうせいさんく)や北4東6周辺地区への中央体育館移転などの事業が進行中です。

ますます魅力的に、便利に生まれ変わりつつある札幌都心、新幹線の開業が予定されるJR「札幌」駅が徒歩圏にある都心立地です。



2. 歴史を継承し、未来を歩む。時を超えてレガシーとなる悠美邸を目指したデザインを採用

本物件が誕生する都心エリアには、開拓時代の頃からさまざまなレンガの建物がつくられてきました。本物件は、そうした歴史を受け継ぐと同時に、未来のレガシーとなるモダンデザインを追求。重厚な陰影をまとうレンガの台座にガラスの彫刻を屹立させた現代アートを彷彿させる美しい邸宅を目指しました。



また、天井高約3.5mの開放感あふれるエントランスホールは、格式あるシティホテルのロビーを思わせる迎賓空間。ホールには3つのラウンジをご用意し、四季折々に目を愉しませる多彩な植栽など、ゆったりと広がる空間が、心ゆたかなひとときを演出します。

3. 再配達ゼロを目指した各住戸専用宅配ボックス「ライオンズマイボックス」を北海道初導入

住居者全員がいつでも受け取り可能な各住戸専用の宅配ボックス「ライオンズマイボックス」を採用し、大型荷物等を受け取れる共用ボックスも設置しています。

<「ライオンズマイボックス」について>

「必ず受け取りたい、確実に届けたい」という居住者と宅配事業者双方の視点から、大京が宅配ボックスメーカーと共同で開発した新世代のマンション用宅配ボックスです。現代の宅配利用頻度やネット通販の標準的な荷物のサイズに対応した居住者ごとの専用宅配ボックスを用意。一つのボックスで異なる宅配事業者の荷物や複数の荷物の同時収納を可能とし、メールボックスと一体化することにより、省スペースで効率的な荷物の受け取りを実現しました。「ライオンズマイボックス」は『再配達ゼロ』を目指す取り組みとして評価され、2016年のグッドデザイン賞を受賞しました。

各戸専用宅配ボックス ライオンズ マイボックス

郵便と宅配のボックスを一体化した「ライオンズマイボックス」を導入。各戸専用ボックスなので、プライバシーの面でもより安心です。社会問題化している再配達の問題をなくし、輸送の省エネ化にも貢献します。

北海道初!^{※1}



1BOXに複数荷物

いつでも受け取り可能!

荷物が入っていても、新たに追加で入庫できる。



1つのボックスで複数の荷物が保管可能

GOOD DESIGN AWARD 2016

4. 居住者のニーズや社会の変化に対応できる「(仮称)スマートインフォボード」を北海道初導入

共用ラウンジに北海道初のデジタルサイネージ「(仮称)スマートインフォボード」を採用。先進テクノロジーによるタッチパネル式ディスプレイで、管理会社からのお知らせや近隣のタウン情報、ショップのセール情報をチェックできます。従来のコルクボードでの掲示では、貼付した紙が汚れたり、劣化することもありましたが、ボードにお知らせを映し出せるので、常に共用空間をきれいに保てます。



また、居住者の暮らしに役立つ便利な情報も掲載する予定で、掲載コンテンツは居住者のニーズに合わせて、増やすことが出来る掲示板となります。今後のデジタル化等の変化が進む世の中にも対応できるよう、今回、北海道で初めて導入いたします。

■「ライオンズ札幌中央レガシア」の物件概要

所在地：北海道札幌市中央区北二条東2丁目1番4他(地番)
交通：札幌市南北線「さっぽろ」駅下車徒歩7分
札幌市東豊線「大通」駅下車徒歩8分
札幌市東西線「バスセンター前」駅下車徒歩5分
規模・構造：鉄筋コンクリート造、地上14階建て、陸屋根、共同住宅
総戸数：78戸
敷地面積：945.41㎡
間取り：2LDK～3LDK
竣工日：平成30年3月16日(予定)
入居開始日：平成30年3月23日(予定)
設計：株式会社 アイ・エー・シー
施工：株式会社 NIPPO
売主：株式会社 大京

■「ライオンズ札幌中央レガシア」物件ホームページ

<http://lions-mansion.jp/MB151018/>

■「ライオンズ札幌中央レガシア」販売スケジュール

2017年6月 「VRラウンジ」オープン
2017年7月 「棟内モデルルーム」オープン
2017年8月 「第1期販売」契約開始

■「ライオンズマイボックス」に関するニュースリリース

- ・2016年9月29日
http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20160929_2.pdf
- ・2017年4月11日
<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20170411.pdf>

■物件案内

<http://lions-mansion.jp/MB151018/map.html>



■会社概要

大京は、半世紀にわたり、全国主要都市において 37 万戸超の「ライオンズマンション」などを提供してきました。現在は、マンション開発にとどまらず、グループ 14 社とのシナジーを発揮し、建物の維持管理をはじめ、中古売買、賃貸管理、リフォーム、再開発・建て替え事業等を展開し、グループ一体のワンストップ・サービス体制でお客様のライフサイクルをサポートする企業グループを形成しています。

(詳細はウェブサイトをご参照ください。<http://www.daikyo.co.jp/>)

会 社 名：株式会社大京
本 社：東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 24 番 13 号
代 表 者：代表執行役社長 山口 陽
設 立：1964 年 12 月
資 本 金：411 億 7,100 万円 (2017 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容：不動産開発、不動産販売、都市開発